

第1回府中市コミュニティバス検討協議会議事録要旨

- 日 時 平成22年3月4日（木）午前10時から正午まで
- 場 所 府中市宮西町2-14 府中市役所東庁舎3F第6会議室
- 出席者 中村会長、河井副会長、松平委員、五十嵐委員、橋本委員、
阿部委員、長島委員、下條委員、飯島委員、近藤委員、
高橋委員、吉沢委員、矢野委員
- 事務局 野口府中市長、▪物環境安全部長、八木地域安全対策課長補佐、
横山地域安全対策課施設管理係長、加藤事務職員
窪田京王電鉄バス(株)営業第一担当課長、井上営業第一担当

資料

- 1 第1回コミュニティバス検討協議会議事次第
- 2 第2次コミュニティバス検討協議会資料
- 3 市民の声等内容一覧（平成20年度、平成21年度）
- 4 府中市コミュニティバス検討協議会設置要綱
- 5 府中市コミュニティバス検討協議会の傍聴に関する取扱要領
- 6 第1次コミュニティバス検討協議会提言書（参考資料）
- 7 府中市の交通に関するアンケート調査票（参考資料）
- 8 第2次コミュニティバス検討協議会委員名簿

議事

- 1 開会挨拶
野口府中市長より挨拶。
- 2 委嘱式
委嘱状の交付
- 3 会長・副会長の選任
全会一致で中村委員を会長、河井委員を副会長に選任。▪物環境安全部長から中村会長に検討依頼書（別紙）を交付。
- 4 資料説明
事務局から配付資料について説明。
- 5 その他
次の開催は平成22年5月18日（火）午前10時からとする。

議事概要

○事務局から次の点について資料に基づき説明がなされた。

- ・府中市の概要
- ・既存の公共交通機関の概要
- ・ちゅうバスの概要
- ・ちゅうバスに関して寄せられている意見
- ・第1次コミュニティバス検討協議会からの提言と対応
- ・第2次コミュニティバス検討協議会の位置付け
- ・第1次コミュニティバス検討協議会後の社会状況の変化

○委員からの意見

- ・四谷1丁目は平成15年から課題になっている地域であるが、高齢化が進んでおり、一人暮らしの方も多くいらっしゃることから、解決したい。
- ・現在の四谷6丁目ルートでは日新町の東に住んでいる方は使えないため、もう少し工夫してもらいたい。
- ・多磨町ルートを多磨駅に延伸できないか。
- ・押立町・朝日町循環を増発できないか。
- ・府中駅ロータリーでは押立町・朝日町循環以外の4ルートの乗場がロータリー東側にあり、混雑して並べないことがあるので、1ルートだけでも移動できないか。
- ・府中駅ロータリーで、バスが停留所に十分寄せられないことがあるが、改善できないか。
- ・府中駅ロータリーに時計を設置できないか。
- ・運転手の表彰制度をつくり、運転や接客の質の向上を図れないか。

○まとめ

- ・四谷1丁目に関しては、どのようにしてコミュニティバスに対する地元の理解を得るか、将来にわたる地域の交通環境や生活環境を考慮した上で、考えられる案を事務局から提出する。
- ・四谷6丁目ルートに関しては、日新町東部地域にどのような課題があるか調査する。
- ・多磨町ルートに関しては、何が理由でできないのかを明確にする。
- ・押立町・朝日町循環の増発に関しては、目標の数値を明確にした一定期間の実験運行を検討する。

- 府中駅ロータリー内での停留所の移動は、他の停留所のキャパシティの面から難しい部分があり、また再開発にともなうロータリーの改良との関係もあるが、解決できる方向へ持っていくよう検討する。
- 停留所への車寄せは、ドライバーの問題もあるが、バスベイの形状の工夫等により解決できることがあるので、ロータリーの改良と合わせて検討する。
- 乗務員の表彰制度についてはベストドライバーなどさまざまなやり方があるが、具合的なメニューについては今後の課題とする。